

事前評価書

都道府県名	北海道	関係市町村	泊村
-------	-----	-------	----

事業名	水産資源環境整備事業 (水産生産基盤整備事業)		
地区名	トマリ シリベン 泊 (後志)	事業主体	北海道

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名 (種別)	泊漁港 (第2種)	漁場名	—
陸揚金額	473 百万円	陸揚量	1,045.0 トン
登録漁船隻数	29 隻	利用漁船隻数	31 隻
主な漁業種類	さけ定置網漁業、ほたて養殖漁業、他	主な魚種	さけ類、ほたてがい (養殖) 他
漁業経営体数	22 経営体	組合員数	41 人
地区の特徴	本地区は、北海道西部積丹半島の中部に位置し、河川沿いの平野部のほかには海岸線に沿った細長い平野部に集落が形成されている。山地が多く海に面した平野部が多いため漁業を中心とした産業が栄え、特にさけ定置網漁業、ほたて養殖漁業、なまこ・うに漁業等が盛んであり、地域の基幹産業となっている。		
2. 事業概要			
事業目的	<p>本地区では、隣接する盃(カブト)漁港の集出荷機能を集約し、泊(後志)漁港を集出荷拠点漁港として水産物の取扱量を増加させることで市場競争力を高め、漁業生産コストの軽減を目指すこととしている。しかし、本地区は波浪の影響による航路・泊地の静穏悪化が問題となっており、漁船の強固な係留が必要となるほか養殖漁場までの航行の見合わせが発生している。</p> <p>また、荒天時に航路・泊地の静穏が保たれないことで、安全に陸揚げ作業ができず時間を要するほか、岸壁からの越水による漁具等の流出を未然に防止し、荒天の後は港内に打ち上げられた流木等を清掃する等、非効率な作業を強いられている。</p> <p>このため、北外防波堤の新設及び嵩上げ改良により航路・泊地の静穏度向上を図る。</p>		
主要工事計画	泊(後志)漁港 北外防波堤 L=30.0m 北外防波堤(改良) L=159.2m		
事業費	2,100百万円	事業期間	令和7年度～令和16年度

II 必須項目

1. 事業の必要性			
<p>泊(後志)漁港は、北海道神恵内岩内圏域の生産拠点漁港であるが、波浪の影響により航路・泊地の静穏度が悪化し漁船の航行に支障が生じていたり、漁船の損傷、頻繁な見回り作業及び強固な係留作業等が必要になっていることから、非効率な作業を強いられている。</p> <p>また、隣接する盃漁港(カブト地区)の集出荷機能を集約し、泊(後志)漁港を集出荷拠点漁港とすることで、水産物の安定供給を可能とし流通促進を図る。</p> <p>以上から、漁業活動の安全性向上や漁労環境の改善及び水産物の安定供給のため、北防波堤の新設及び嵩上げ改良を行う必要がある。</p>			
2. 事業採択要件			
①	計画事業費	2,100百万円(採択要件:500百万円以上)	
②	漁港種別	第2種漁港(昭和26年7月に指定)	
③	属地陸揚金額	473百万円(令和4年)(採択要件:200百万円以上)	
3. 事業を実施するために必要な基本的な調査			
(1) 利用面、防護面、施工面等から適切な位置を選定するための地理的条件、自然条件に関する基本的な調査			
漁港利用実態、深淺測量、波浪状況等を調査			
(2) 施設の利用の見込み等に関する基本的な調査			
漁港利用実態等の将来予測、港内静穏度の調査			
(3) 自然環境、生活環境等の周辺環境及びそれに与える影響の把握			
施工による周辺海域への影響を調査			
4. 事業を実施するために必要な調整			
(1) 地元漁業者、地元住民等との調整			
古宇郡漁業協同組合、泊村から意見聴取、調整済。			
(2) 関係都道府県、関係市町村、関係部局(隣接海岸、道路、河川、港湾、環境等)との事前調整			
泊村と事業内容について調整済み。			
5. 事業の投資効果が十分見込まれること			
費用便益比 B/C:		1.30	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり

Ⅲ 優先配慮項目

分類項目			評価指標	評価		
大項目	中項目	小項目				
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	生産	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	—	
					資源管理諸施策との連携	—
			漁家経営の安定 (水産物の安定供給)	生産量の増産(持続・増産・下降抑制)	A	
				生産コストの縮減等(効率化・計画性の向上)	A	
			水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	—	
				環境保全効果の持続的な発揮	—	
			陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	—
					消費者への安定提供	B
				漁業活動の効率化	漁港等の機能の強化	B
			労働環境の向上	就労改善等	B	
		生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	—	
				災害時の緊急対応	—	
		漁業の成長力強化	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	—	
	水産物流通に与える効果		水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	—		
	地域経済に与える効果		加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	—		
効率性	コスト縮減対策		計画時におけるコスト縮減対策の検討	A		
事業の実施環境	他計画との整合		地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	A		
	他事業との調整・連携		他事業との調整・連携	B		
	循環型社会の構築		リサイクルの促進等	—		
	環境への配慮		生態系への配慮等	B		
	多面的機能発揮に向けた配慮		多面的機能の発揮	—		

Ⅳ 総合評価

本地区は圏域内水産物の生産拠点として重要な役割を担っているが、波浪や越波による航路・泊地の静穏度悪化により、陸揚げ作業などの岸壁利用時に漁船が揺動し漁具・漁獲物の円滑な受け渡しができない等の危険な作業を強いられているほか、漁船及び漁具資材の耐用年数低下が発生するなど、非効率な漁業活動が続いている。

当該事業は、外郭施設の整備を行うことにより、安全な漁業活動を確保し、漁業環境の改善を図るものであり、費用便益比率も1.0を越えていることから、事業の実施は妥当であると判断される。

多段階評価の評価根拠について

分類項目			評価指標	評価根拠	評価	
大項目	中項目	小項目				
有効性	生産力の向上と力強い産地づくり	水産資源の保護・回復	水産資源の維持・保全	該当なし	—	
			資源管理諸施策との連携	該当なし	—	
		漁家経営の安定(水産物の安定供給)	生産量の増産(持続・増産・下降抑制)	外郭施設の整備により航路・泊地静穏度が向上し、定置網漁業等の出漁日数が増加するため、安定した漁獲量の増産が期待されることから「A」と評価した。	A	
			生産コストの縮減等(効率化・計画性の向上)	外郭施設の整備により航路静穏度が向上し、漁船・係留索の耐用年数延長や漁具避難・清掃作業時間の短縮により、大幅なコスト縮減が期待されることから「A」と評価した。	A	
		水域環境の保全・創造	水質・底質の維持・改善	該当なし	—	
			環境保全効果の持続的な発揮	該当なし	—	
		陸揚げ荷捌き集出荷流通加工	安全・安心な水産物提供	品質確保	該当なし	—
				消費者への安定提供	外郭施設整備により、泊地静穏度が確保され、水産物の陸揚げ作業時間が短縮され生産性が向上されることから、「B」と評価した。	B
			漁業活動の効率化	隣接する盃漁港(カブト地区)の集出荷機能を集約し、泊(後志)漁港を集出荷拠点漁港とし水産物の取扱量が増加するため、「B」評価とした。	B	
			労働環境の向上	就労改善等	外郭施設整備により、港内静穏度が確保され、揺動する漁船からの慎重な陸揚げ作業等が解消され、航路や岸壁を利用する乗組員の安全性の向上が期待されることから、「B」と評価した。	B
	生活	生活者の安全・安心確保	定期船の安定運航	該当なし	—	
			災害時の緊急対応	該当なし	—	
	漁業の成長力強化	漁業の生産性向上	生産量等の拡大・安定化や効率化等	該当なし	—	
			水産物流通量等の拡大・安定化や効率化、水産物の販路や輸出拡大等	該当なし	—	
		地域経済に与える効果	加工場等関連産業の集積、雇用者数増加、交流人口の増加等	該当なし	—	
効率性	コスト縮減対策	計画時におけるコスト縮減対策の検討	整備を行うにあたり、コスト縮減対策として、既存の防波堤を有効活用した整備を実施することから「A」と評価した。	A		
事業の実施環境等	他計画との整合	地域の水産関連計画等との整合性及び地元調整	航路・泊地の静穏度向上により、北海道強靱化計画中の「食料生産基盤の整備」と整合が図られているため、「A」と評価した。	A		
	他事業との調整・連携	他事業との調整・連携	漁港機能分担・有効活用推進事業基本計画との連携により、集出荷機能集約を図られ、遊水部の有効活用との連携効果が期待されることから、「B」と評価した。	B		
	循環型社会の構築	リサイクルの促進等	該当なし	—		
	環境への配慮	生態系への配慮等	施工にあたって、低燃費型建設機械の使用によるCO2排出量の低減に努めることから、「B」と評価した。	B		
	多面的機能発揮に向けた配慮	多面的機能の発揮	該当なし	—		

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	北海道	地区名	泊（後志）
事業名	水産生産基盤整備事業	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,803,105
②漁獲機会の増大効果			109,754	千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	29,488	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	1,942,347	千円
総費用額（現在価値化）		C	1,494,286	千円
費用便益比		B / C	1.30	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

就労環境の向上による漁業後継者の確保
労働意欲の向上

水産生産基盤整備事業 泊(後志)地区 事業概要図

【整理番号11】

事業主体:北海道
主要工事計画:北外防波堤 L= 30.0m
北外防波堤(改良) L=159.2m
事業費:2,100百万円
事業期間:令和7年度~令和16年度

北外防波堤
(新設・嵩上げ)



第1種 盃漁港 (カブト地区)

第2種 泊(後志)漁港

集出荷機能集約による機能分担

集出荷拠点漁港

泊(後志)地区



1. 事業概要

- (1) 事業目的：北海道神恵内岩内圏域の生産拠点漁港である当該地区において、航路・泊地の静穏度対策として、漁業活動の安全性や漁労環境の改善を目的に、防波堤の延伸及び改良の整備を行う。
- (2) 主要工事計画：北外防波堤 L=30.0m
北外防波堤(改良) L=159.2m
- (3) 事業費：2,100百万円
- (4) 工期：令和7年度～令和16年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和6年6月改訂 水産庁）及び同「参考資料」（令和6年6月改訂 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	1,494,286（千円）
総便益額（現在価値化）	②	1,942,347（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.30

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
泊（後志）漁港		
北外防波堤	L= 30.0m	890,000
北外防波堤(改良)	L= 159.2m	1,210,000
計		2,100,000
維持管理費等		4,850
総費用（消費税込）		2,104,850
内、消費税額		191,350
総費用（消費税抜）		1,913,500
現在価値化後の総費用		1,494,286

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		124,249	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外郭施設整備に伴う荒天時警戒係留作業時間の削減 ・ 外郭施設整備に伴う荒天時巡視時間の削減効果 ・ 静穏度向上に伴う漁船耐用年数の延長効果 ・ 外郭施設整備に伴う漁具資材移動作業の削減効果 ・ 外郭施設整備に伴う荒天時清掃作業の削減効果 ・ 静穏度向上に伴う係留索耐用年数の延長効果 ・ 外郭施設整備に伴う陸揚作業時間の短縮 ・ 静穏度確保による出入港待ち時間の削減
漁獲機会の増大効果		7,563	・ 静穏度確保による出漁可能数の増加
労働環境改善効果		2,032	・ 航路静穏度確保による作業の安全性向上や労働環境の改善
計		133,844	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフ レータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)					
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理 費含む)	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲機会 の増大 効果	労働環境 改善効果	計	現在価値 (千円)	
					③	①×②×③				④	①×④	
0	6	1.000	1.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	7	0.962	1.000	16,000	14,545	13,992	0	0	0	0	0	0
2	8	0.925	1.000	195,000	177,273	163,978	0	0	0	0	0	0
3	9	0.889	1.000	195,000	177,273	157,596	0	0	0	0	0	0
4	10	0.855	1.000	195,000	177,273	151,568	0	0	0	0	0	0
5	11	0.822	1.000	195,000	177,273	145,718	0	0	0	0	0	0
6	12	0.790	1.000	195,000	177,273	140,046	0	0	0	0	0	0
7	13	0.760	1.000	227,000	206,364	156,837	0	0	0	0	0	0
8	14	0.731	1.000	285,000	259,091	189,396	0	0	0	0	0	0
9	15	0.703	1.000	285,000	259,091	182,141	0	0	0	0	0	0
10	16	0.676	1.000	312,000	283,636	191,738	0	0	0	0	0	0
11	17	0.650	1.000	97	88	57	124,249	7,563	2,032	133,844	86,999	
12	18	0.625	1.000	97	88	55	124,249	7,563	2,032	133,844	83,653	
13	19	0.601	1.000	97	88	53	124,249	7,563	2,032	133,844	80,440	
14	20	0.577	1.000	97	88	51	124,249	7,563	2,032	133,844	77,228	
15	21	0.555	1.000	97	88	49	124,249	7,563	2,032	133,844	74,283	
16	22	0.534	1.000	97	88	47	124,249	7,563	2,032	133,844	71,473	
17	23	0.513	1.000	97	88	45	124,249	7,563	2,032	133,844	68,662	
18	24	0.494	1.000	97	88	43	124,249	7,563	2,032	133,844	66,119	
19	25	0.475	1.000	97	88	42	124,249	7,563	2,032	133,844	63,576	
20	26	0.456	1.000	97	88	40	124,249	7,563	2,032	133,844	61,033	
21	27	0.439	1.000	97	88	39	124,249	7,563	2,032	133,844	58,758	
22	28	0.422	1.000	97	88	37	124,249	7,563	2,032	133,844	56,482	
23	29	0.406	1.000	97	88	36	124,249	7,563	2,032	133,844	54,341	
24	30	0.390	1.000	97	88	34	124,249	7,563	2,032	133,844	52,199	
25	31	0.375	1.000	97	88	33	124,249	7,563	2,032	133,844	50,192	
26	32	0.361	1.000	97	88	32	124,249	7,563	2,032	133,844	48,318	
27	33	0.347	1.000	97	88	31	124,249	7,563	2,032	133,844	46,444	
28	34	0.333	1.000	97	88	29	124,249	7,563	2,032	133,844	44,570	
29	35	0.321	1.000	97	88	28	124,249	7,563	2,032	133,844	42,964	
30	36	0.308	1.000	97	88	27	124,249	7,563	2,032	133,844	41,224	
31	37	0.296	1.000	97	88	26	124,249	7,563	2,032	133,844	39,618	
32	38	0.285	1.000	97	88	25	124,249	7,563	2,032	133,844	38,146	
33	39	0.274	1.000	97	88	24	124,249	7,563	2,032	133,844	36,673	
34	40	0.264	1.000	97	88	23	124,249	7,563	2,032	133,844	35,335	
35	41	0.253	1.000	97	88	22	124,249	7,563	2,032	133,844	33,863	
36	42	0.244	1.000	97	88	21	124,249	7,563	2,032	133,844	32,658	
37	43	0.234	1.000	97	88	21	124,249	7,563	2,032	133,844	31,319	
38	44	0.225	1.000	97	88	20	124,249	7,563	2,032	133,844	30,115	
39	45	0.217	1.000	97	88	19	124,249	7,563	2,032	133,844	29,044	
40	46	0.208	1.000	97	88	18	124,249	7,563	2,032	133,844	27,840	
41	47	0.200	1.000	97	88	18	124,249	7,563	2,032	133,844	26,769	
42	48	0.193	1.000	97	88	17	124,249	7,563	2,032	133,844	25,832	
43	49	0.185	1.000	97	88	16	124,249	7,563	2,032	133,844	24,761	
44	50	0.178	1.000	97	88	16	124,249	7,563	2,032	133,844	23,824	
45	51	0.171	1.000	97	88	15	124,249	7,563	2,032	133,844	22,887	
46	52	0.165	1.000	97	88	15	124,249	7,563	2,032	133,844	22,084	
47	53	0.158	1.000	97	88	14	124,249	7,563	2,032	133,844	21,147	
48	54	0.152	1.000	97	88	13	124,249	7,563	2,032	133,844	20,344	
49	55	0.146	1.000	97	88	13	124,249	7,563	2,032	133,844	19,541	
50	56	0.141	1.000	97	88	12	124,249	7,563	2,032	133,844	18,872	
51	57	0.135	1.000	97	88	12	124,249	7,563	2,032	133,844	18,069	
52	58	0.130	1.000	97	88	11	124,249	7,563	2,032	133,844	17,400	
53	59	0.125	1.000	97	88	11	124,249	7,563	2,032	133,844	16,731	
54	60	0.120	1.000	97	88	11	124,249	7,563	2,032	133,844	16,061	
55	61	0.116	1.000	97	88	10	124,249	7,563	2,032	133,844	15,526	
56	62	0.111	1.000	97	88	10	124,249	7,563	2,032	133,844	14,857	
57	63	0.107	1.000	97	88	9	124,249	7,563	2,032	133,844	14,321	
58	64	0.103	1.000	97	88	9	124,249	7,563	2,032	133,844	13,786	
59	65	0.099	1.000	97	88	9	124,249	7,563	2,032	133,844	13,251	
60	66	0.095	1.000	97	88	9	124,249	7,563	2,032	133,844	12,715	
計				2,104,850	1,913,492	1,494,286	計					1,942,347

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定
 ※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

8) 静穏度確保による入港待ち時間の削減

航路の静穏度が確保されていないため、波浪の際の入港時には沖合で待機するなど、非効率な航行状況である。
 整備後は、静穏度が確保されるため、効率的な航行が可能となり、待機時間の削減が可能となる。

区分		単位	備考
①対象隻数	下表のとおり	隻	調査時期：令和6年1月 調査対象者：古宇郡漁業協同組合職員 調査実施者：北海道職員 調査方法：ヒアリング調査
②対象人数		人	
③待機時間（整備前）		hr	
待機時間（整備後）		hr	
④入港待ち日数		日	年間の出漁日数×港内の荒れている割合により算出
⑤労務単価	2,828	円/hr	令和4年漁業経営調査報告(海域別、日本海北区)
⑥年間便益額	6,615	千円/年	{(①×②×③(整備前-整備後)×④×⑤)} /1,000

漁業種類	対象隻数 ①	対象人数②			待機時間③		入港待ち 日数 ④	労務単価 ⑤	年間便益額 ⑥
		海上 作業員	陸上 作業員	合計	(整備前)	(整備後)			
定置網漁業	3	5	5	10	1.0	0.0	28	2,828	2,375
いか釣り漁業	2	2	5	7	1.0	0.0	20	2,828	791
ほたて養殖漁業	2	6	5	11	1.0	0.0	35	2,828	2,177
刺し網漁業	3	2	3	5	1.0	0.0	30	2,828	1,272
さけ定置(補助船)	1	5	0	5	1.0	0.0	15	2,828	212
たこ漁業	2	1	3	4	1.0	0.0	24	2,828	542
うに・あわび潜水器漁業	5	1	2	3	1.0	0.0	3	2,828	127
なまこ漁業	2	1	2	3	1.0	0.0	2	2,828	33
計	-	-	-	-	-	-	-	-	6,615

(2) 漁獲機会の増大効果

1) 静穏度確保による出漁可能数の増加

波浪の影響により、航路及び泊地が荒れ静穏が保てず出漁を断念している状況にある。整備後は波浪の影響が軽減され、静穏が向上することから出漁日数の増加が見込まれる。

区分		単位	備考
①年間生産量（整備前）	下表のとおり	千円/年	港勢調査（H30～R4平均）
②年間出漁回数（整備前）		回/年	調査時期：令和6年1月 調査対象者：古宇郡漁業協同組合職員 調査実施者：北海道職員 調査方法：ヒアリング調査 稼働率向上による増加日数割合：5%
年間出漁回数（整備後）		回/年	
③一日当たりの漁獲高（整備前）		千円/日	港勢調査（H30～R4平均）
④所得率	0.628	%	令和4年漁業経営調査報告(海域別、日本海北区)
⑤年間便益額	7,563	千円/年	②(整備後-整備前)×③×④

漁業種類	年間生産量 ①	年間出漁日数 ②		整備前一日当 たりの漁獲高 ③	所得率 ④	年間便益額 ⑤
		(整備前)	(整備後)			
定置網漁業	114,615	93	98	1,232	0.628	3,868
いか釣り漁業	35,095	48	51	731	0.628	1,377
刺し網漁業	26,601	75	79	354	0.628	889
たこ漁業	1,349	60	63	22	0.628	41
うに・あわび潜水器漁業	12,086	25	27	483	0.628	606
なまこ漁業	24,935	20	21	1,246	0.628	782
計	-	-	-	-	-	7,563

(3) 労働環境改善効果

1) 航路静穏度確保による作業の安全性向上や労働環境の改善

波浪の影響により、航路及び港内の静穏度が悪く、慎重な漁船航行により作業が長時間となり作業員が拘束されているとともに、揺動する漁船からの陸揚げ作業等、足場が不安定で危険な作業を強いられている。整備後は航路を利用する乗組員の安全性が向上することや、陸揚げから荷さばきへのスムーズな作業となり、就労環境の改善が図られる。

区分	単位	備考
①対象隻数	隻	調査時期：令和6年1月
②対象日数	日/年	調査場所：古宇郡漁業協同組合
③作業人員	人	調査実施者：北海道職員
④対象作業時間	hr/日	調査方法：ヒアリング調査
⑤作業状況ランク（整備前）	1.162	※年間の出漁日数×港内の荒れている割合により算出
作業状況ランク（整備後）	1.000	公共工事設計労務単価（令和6年版）から労働環境ランク別の基準値
⑥労務単価	2,828	円/hr
⑦年間便益額	2,032	千円/年
		令和4年漁業経営調査報告書(海域別、日本海北区)
		Σ②(整備後-整備前)×③×④×⑤

漁業種類	対象隻数 ①	対象日数 ②	作業人員③			対象作業時間 ④	作業状況ランク⑤		労務単価 ⑥	年間便益額 ⑦
			海上 作業員	陸上 作業員	合計		(整備前)	(整備後)		
定置網漁業	3	28	5	5	10	1.5	1.162	1.000	2,828	577
いか釣り漁業	2	20	2	5	7	1.5	1.162	1.000	2,828	192
ほたて養殖漁業	2	35	6	5	11	2.0	1.162	1.000	2,828	705
刺し網漁業	3	30	2	3	5	2.0	1.162	1.000	2,828	412
さけ定置(補助船)	1	15	5	0	5	1.0	1.162	1.000	2,828	34
たこ漁業	2	24	1	3	4	1.0	1.162	1.000	2,828	87
うに・あひび潜水器漁業	5	3	1	2	3	1.0	1.162	1.000	2,828	20
なまこ漁業	2	2	1	2	3	1.0	1.162	1.000	2,828	5
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,032

作業環境ランクチェックシート

5-1 外郭施設整備に伴う航路静穏度確保による作業の安全性向上や労働環境の改善

評価指標	ポイント	チェック		評価の根拠（整備前）	根拠（評価の目安）	
		整備前	整備後			
危険性	事故等の発生頻度	a 作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある
		c 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		静穏度不足による転倒事故の懸念がある
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○	
	事故等の内容	a 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			転倒、資材の落下、落下物の危険等
		c 通院不要で数日で完治するようなくらいケガ	1	○		静穏度不足による転倒事故の懸念がある
		d 事故等が発生する危険性は低い	0		○	軽い打撲等
危険性小計	0~6	2	0			
作業環境	a 極めて過酷な作業環境である	5			極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		波浪による船体動揺	
	c 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○	風雨、波浪の飛沫等	
	d 当該地域における標準的な作業環境である	0				
重労働性	a 肉体的負担が極めて大きい作業	5			人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
	b 肉体的負担が比較的大きい作業	3			長時間の同じ姿勢での作業等	
	c 肉体的負担がある作業	1	○	○	船体動揺の中での陸揚げ作業	
	d 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0				
評価ポイント 計		6	2			
作業ランク		B	C			

Aランクの条件：評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること
 Bランクの条件：評価ポイント計12~6ポイント
 Cランクの条件：評価ポイント計5~0ポイント